

ISO/TC34（食品専門委員会）の概要

1. 当委員会の概要

(1) 名称 : Food products
食品専門委員会

(2) 設立 : 1947年

(3) 幹事国 : フランス

(4) 作業範囲 :

Standardization in the field of human and animal foodstuffs, covering the food chain from primary production to consumption, as well as animal and vegetable propagation materials, in particular, but not limited to, terminology, sampling, methods of test and analysis, product specifications, food and feed safety and quality management and requirements for packaging, storage and transportation.

Excluded: products covered by ISO/TC54 Essential oils and ISO/TC93 Starch (including derivatives and by-products).

(仮訳) 人と動物の食料分野に係る、第一次生産から消費までのフードチェーン全体を包括する事項及び動物と植物の繁殖のための材料に関する事項の標準化。特に、用語、サンプリング、分析方法、製品の仕様書、食品及び飼料の安全と品質マネジメント、食品の包装、貯蔵及び輸送に関する要求事項の標準化を扱うが、それらに限定されるものではない。

対象除外 : ISO/TC54 (精油) 及び ISO/TC93 (でん粉 (同製品及び副産物を含む)) でカバーされる製品

(5) ISO/TC34 及び直下の SC (分科委員会) で発行した規格数 : 925
(令和5年7月19日現在)

(6) ISO/TC34 が直接責任を有する発行された規格数 : 31
(追補を含む)

(7) Pメンバー : 62ヶ国 (令和5年7月19日現在)

(8) Oメンバー：81ヶ国（令和5年7月19日現在）

(9) ISO/TC34に設置されているSC（分科委員会）

SC番号	分科委員会名（仮訳）	幹事国
2	採油用種子及び果実	フランス
3	果実、野菜及びそれらの二次製品	トルコ
4	穀物及び豆類	中国
5	牛乳及び乳製品	オランダ
6	食肉、家禽、魚、卵及びそれらの製品	中国
7	スパイス、ハーブ及び香味調味料	インド
8	茶	イギリス
9	微生物	フランス
10	動物用飼料	イラン
11	動植物の油脂	イギリス
12	官能分析	アルゼンチン
15	コーヒー	コロンビア
16	分子生物指標の分析に係る横断的手法	アメリカ
17	食品安全のためのマネジメントシステム	デンマーク
18	ココア	オランダ
19	ミツバチ製品	中国
20	食品ロス及び廃棄	デンマーク

※SC1は1983年に解散、SC13は2000年にSC14へ統合、SC14は2015年にSC3へ統合。

(10) ISO/TC34に設置されているWG（作業グループ）※

※現在活動中のWGのみ掲載

WG番号	作業部会名（仮訳）	コンビーナの出身国
14	ビタミン、カロテノイド及びその他の栄養成分	スイス
20	アフラトキシン	イラン
21	持続可能な発展と社会的責任	フランス
24	qNMR（定量核磁気共鳴分光法）	日本
25	食料安全（保障）	アルゼンチン
26	植物性食品	オランダ
27	職業的農業者組織	オランダ

2. 国内の検討体制について

規格の検討に際し、FAMICは国内審議団体としてISO/TC34国内対策委員会を設置し、さらに必要に応じて関係業界への照会等を行うことで幅広く国内意見を取りまとめ、投票や意見募集に対して適切な対応を行っております。